

ディープラーニングを活用したロボット制御における安定性向上の研究

1. はじめに

国内外でロボット、AI技術は注目されており、本県においても各種ロボット関連製品に取り組む企業が現れています。既存製品へのAI技術導入について検討を始める事例もありますが、急速に進化するこれらの技術は、ソフトウェア、ハードウェアともに産業用途として最適な組み合わせなどについて、課題が多いのが現状です。そこで県内企業が産業用途に応用することを踏まえた、技術内容の調査、個別のシステム構成開発、技術支援を目指しています。

2. 内容

本研究では、近年注目されている、ディープラーニングなど機械学習に関するソフトウェア、ハードウェアの最新動向を調査し、県内企業が手掛けるロボット関連製品への適用を見据えた、ソフトウェア、ハードウェアの実装方法を開発します。

3. 成果の応用例

既存製品商品力の維持・向上のほか、県内企業による新たなロボット関連製品開発の取り組みが期待できます。



案内ロボット開発への応用（イメージ）

関連する研究事業：

県経常研究「ディープラーニングを活用したロボット制御における安定性向上の研究」（令和4～令和6年度）